

西東京市第 3 次総合計画 基本理念（案）

資料 1－1

ともにみらいにつなぐ やさしさといこいの西東京

第 1 次基本構想および第 2 次基本構想では、「やさしさとふれあいの西東京に暮らし、まちを楽しむ」を基本理念として掲げ、まちづくりを進めてきました。基本理念に込められてきた、お互いを思いやり尊重する「やさしさ」や人と人との「ふれあい」は、合併からの 20 年間で、確実に息づき、育まれてきています。

これからの西東京市に暮らすわたしたちは、これまで大切にしてきた「やさしさ」や「ふれあい」を継承しつつ、西東京市らしい身近に残る豊かな自然環境や安らぎを感じられる落ち着いた住環境を守り育み、誰もが住み続けたいと思える西東京市であってほしいと願います。

一方で、わたしたちの西東京市を取り巻く社会情勢はめまぐるしく変わりつつあります。次世代によりよい西東京市を残していくために、市民と行政がともに新たな課題に向き合い、変化や危機に対して柔軟に対応していくことが求められています。

そのため、わたしたち一人ひとりが、西東京市の未来を「自分ごと」として捉え、主体的にまちづくりに関わり、責任を持って次世代へとつないでいく必要があると考えています。

このような思いから、第 3 次基本構想においては、「**ともにみらいにつなぐ やさしさといこいの西東京**」をわたしたちの望みとして、基本理念に掲げます。

●ともにみらいにつなぐ

「ともに」は、まちづくりに関わる様々な主体が、手を携えて協力している様子を表しています。個の思いや力だけでなく、それぞれの立場や経験を活かし、連携・協働することで、より多様な課題に対応していくことができます。

「みらいにつなぐ」は、これまで守り育んできた西東京市の良さを次世代に残していくことに加えて、様々な主体による取組みが次世代にも引き継がれるよう、次代を担う子どもたちにまちづくりのバトンを渡していくことを表しています。

●やさしさといこいの西東京

「やさしさ」には、思いやりや助け合いの気持ちなど人の優しさや温かさだけでなく、一人ひとりが認められ大事にされる社会、地球環境への配慮ある行動、誰一人取り残さない持続可能な社会など、深く多様な意味が込められています。

「いこい」は、市の中心部に位置する西東京いこいの森公園やマスコットキャラクター「いこいーな」などに象徴されるように、市民が大切に育んできた言葉です。都心に近いながらも、みどりが多く残る環境や落ち着いた住環境など、体や心が休まり、人々の交流が生まれるくつろぎの場をこれからも守り育てていくことを表しています。